

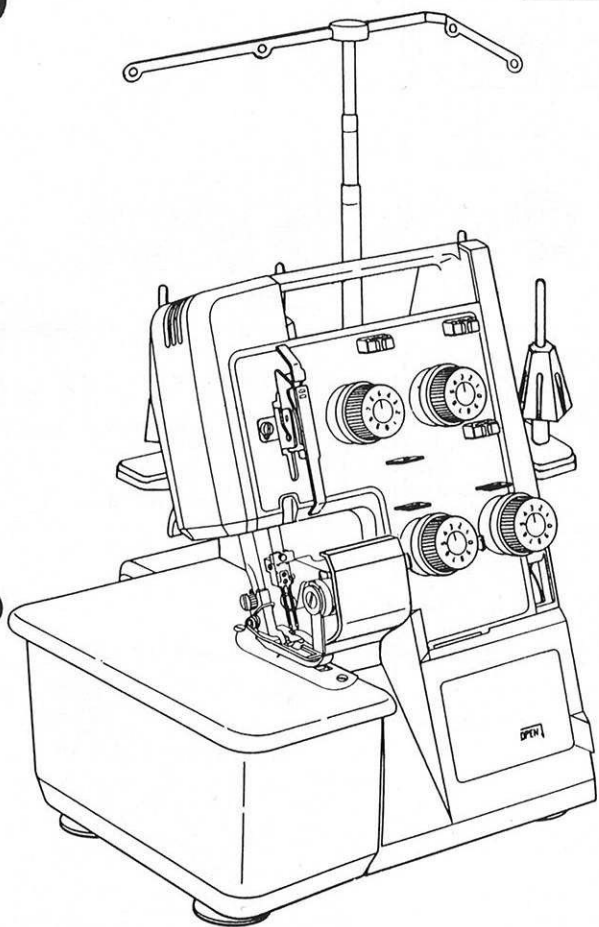
# ヘビーロック

2本針4本糸  
1本針3本糸

オーバーロックシン(差動付)

**BL4-543DF型**

ご使用のてびき



株式会社 **ジューキ**

右針糸調子器

糸立棒

左針糸調子器

照明ライト

上ルーバー糸調子器

針板

下ルーバー糸調子器

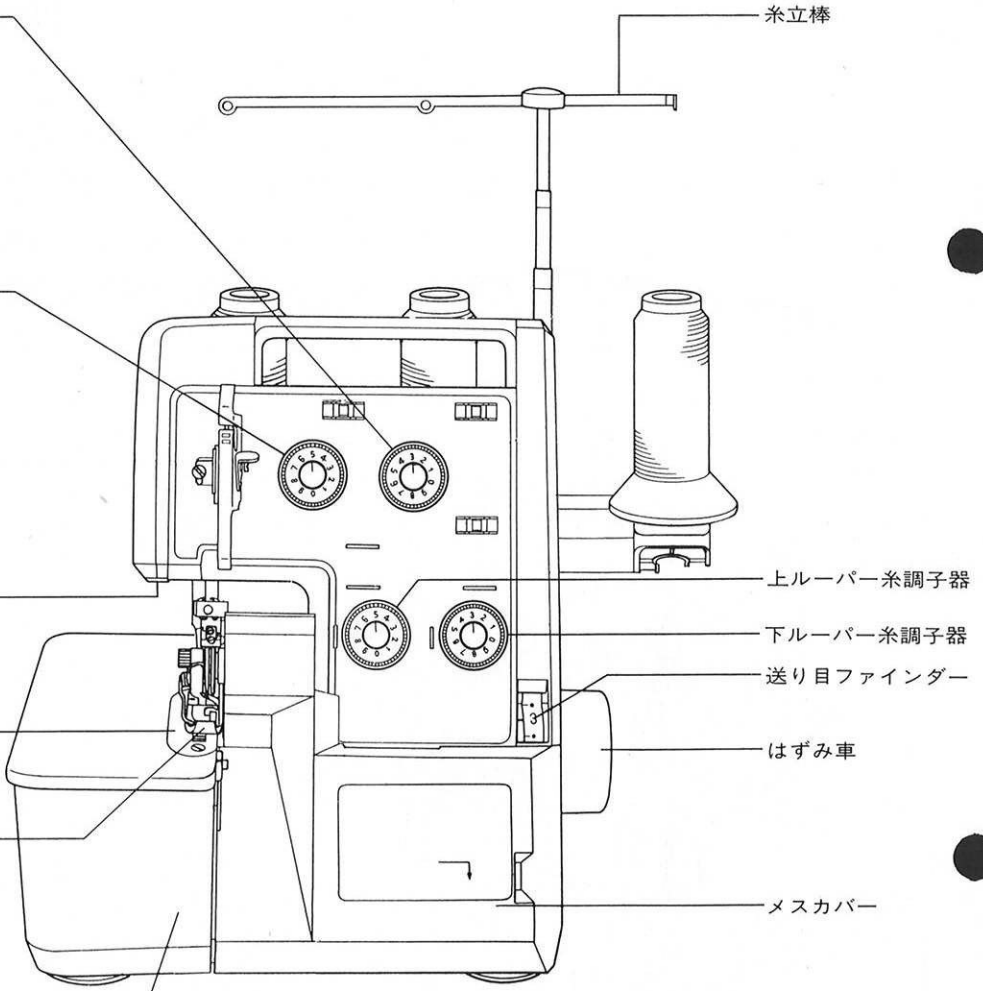
押え金

送り目ファイnder

はずみ車

下側面カバー

メスカバー



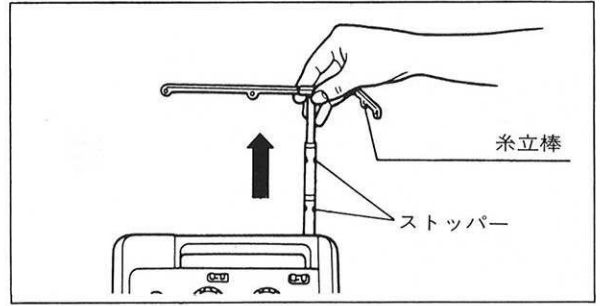
# 目 次

縫うための準備	1
糸のかけ方	2
糸調子のとり方	5
巻きロックとして使用する場合	7
送り目の調節	8
押え金の取り外し・取り付け	8
押え圧力の調節	9
針の交換	9
メスの交換	10
注 油	11
照明ライトの交換	11
伸縮縫いをする場合	12

# 縫うための準備

## ●糸立棒のセット

糸立棒をいっぱい伸ばし、ストッパーで位置決める。



## ●コントローラーのセットと照明ライトスイッチ

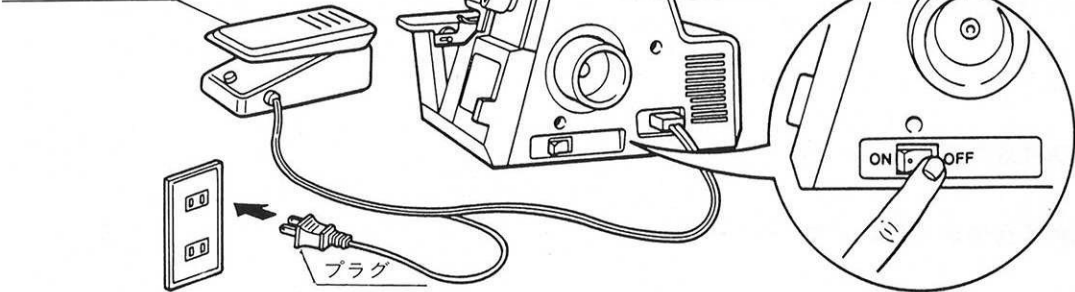
1 コントローラーの電源プラグをコンセントに、もう一方をミシンの接続器に差し込みます。

コントローラーを弱く（浅く）踏むと速度は遅く、強く（深く）踏むと速くなります。

2 照明ライトスイッチを「ON」にすると照明ライトは点灯し、「OFF」にすると消えます。

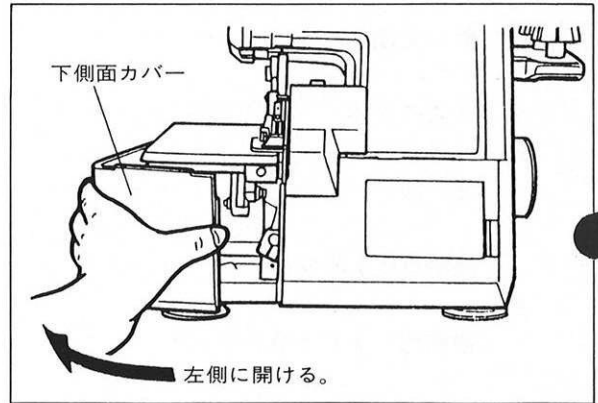
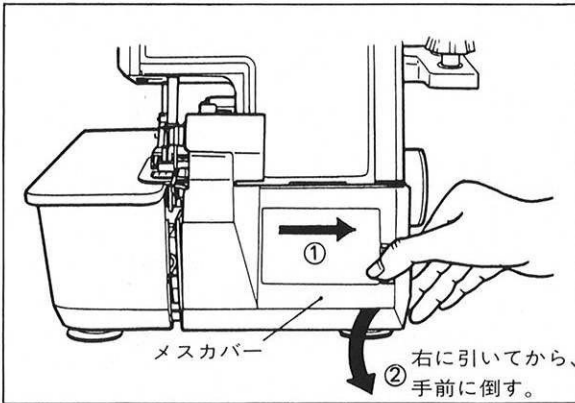
③ ミシン使用後は必ずコントローラーの電源プラグをコンセントより抜いて下さい。又、コントローラーの上には物をのせないで下さい。

コントローラー

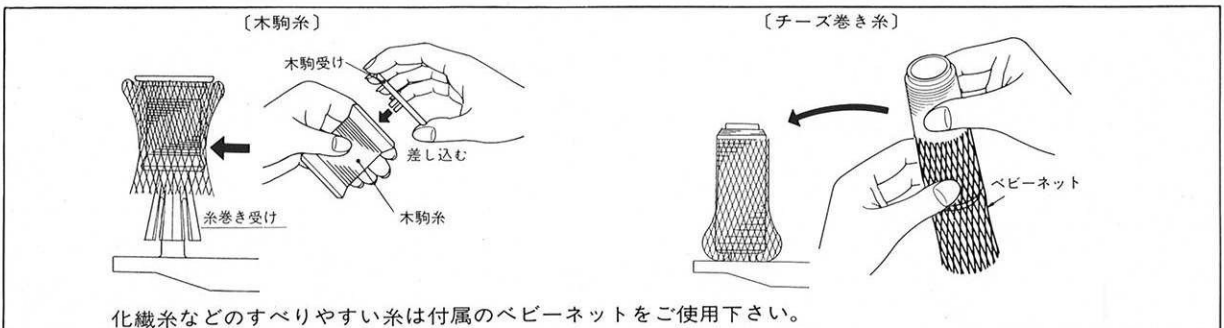


照明ライトスイッチ

## ●メスカバー・下側面カバーの開け方



## ●使用糸



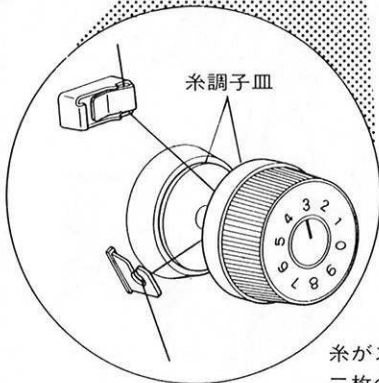
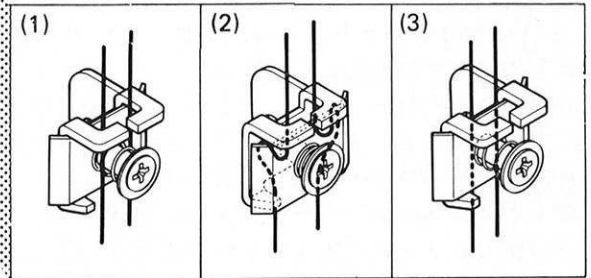
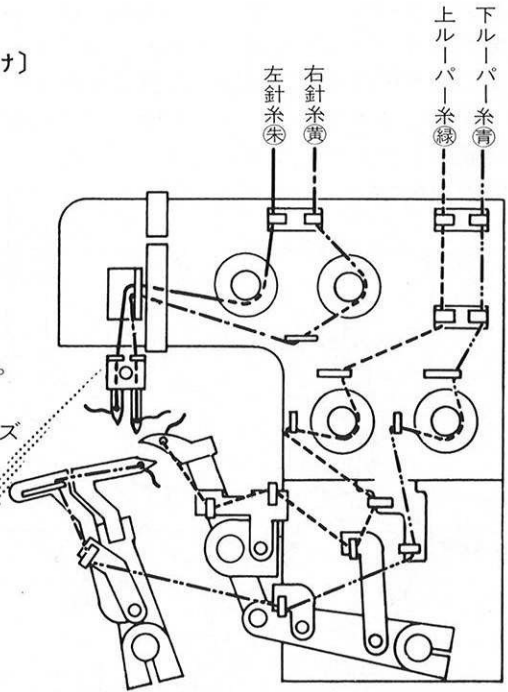
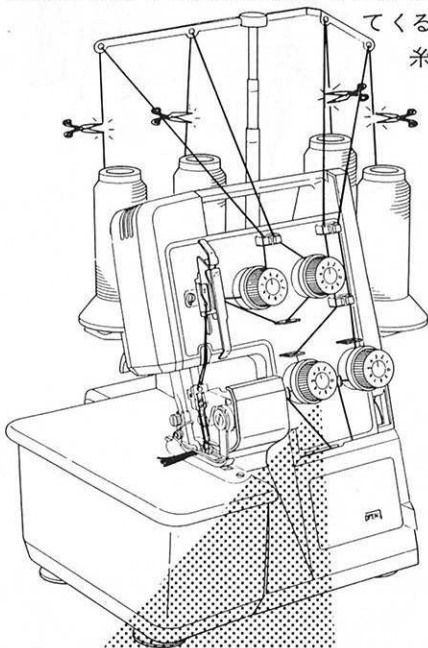
# 糸のかけ方

[a. 2本針4本糸オーバーロック縫い—6.2%幅—の糸かけ]

- メスカバー、下側面カバーを開ける。
- 以下の順序で糸を正しくかける。
  1. 緑のカラーコードに従って上ルーバー糸をかける。
  2. 青のカラーコードに従って下ルーバー糸をかける。
  3. 黄のカラーコードに従って右針糸をかける。
  4. 朱のカラーコードに従って左針糸をかける。

## ～簡単な糸の交換～

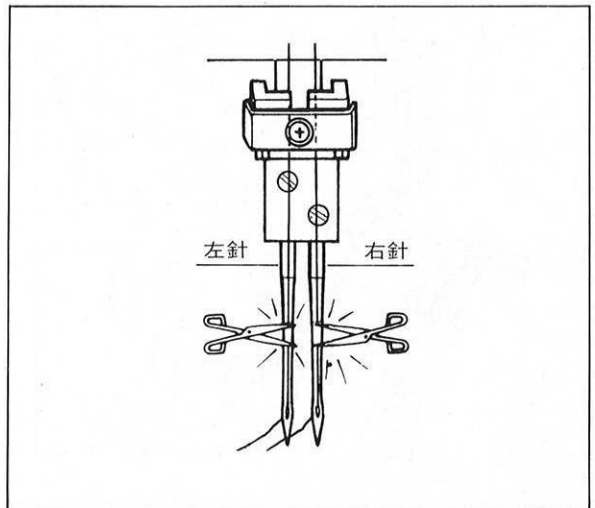
- 糸巻きの近辺で糸を切り、それぞれ交換する糸と結ぶ。
- 押え金を上げる。
- 各糸調子器の二枚の糸調子皿を指で開き（糸がスムーズに流れるように）、糸の結び目が押え金のうしろに出てくるまで、1本1本糸を引き出す。



糸がスムーズに流れるように二枚の糸調子皿を開く。

⑨

針糸は結び目が針穴の手前まで来た時、いったん結び目をはさみで切り、再び針穴に通し直す。



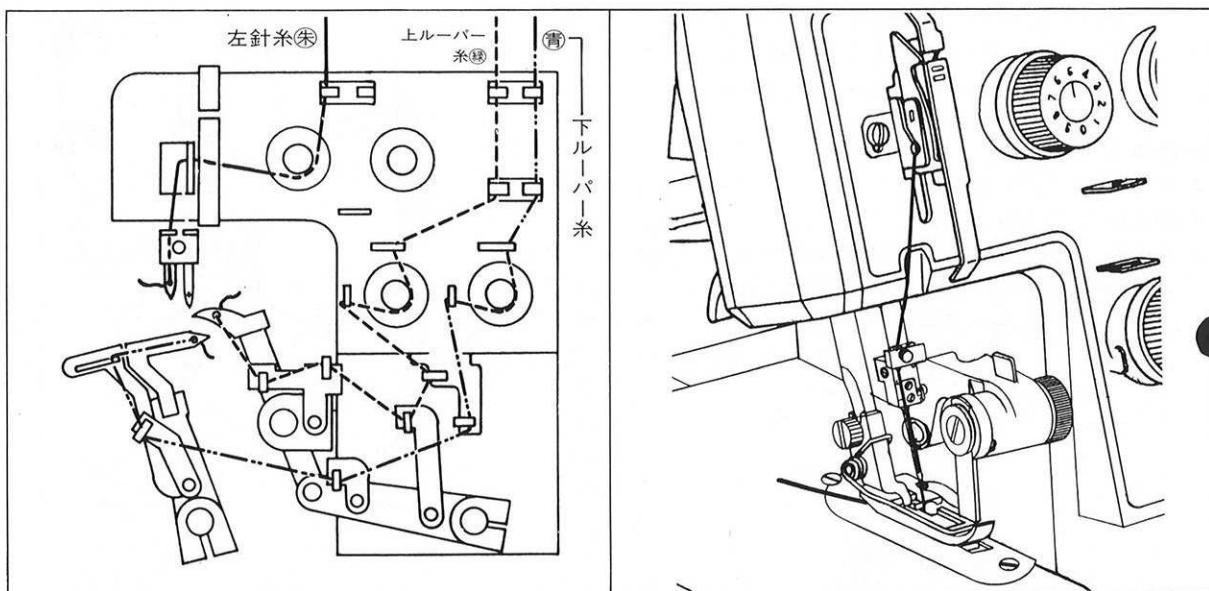
[b. 1本針3本糸オーバーロック縫い—6.2%幅、左針使用—の糸かけ]

以下の順序で糸を正しくかける。

1. 緑のカラーコードに従って、上ルーパー糸をかける。
2. 青のカラーコードに従って下ルーパー糸をかける。
3. 朱のカラーコードに従って左針糸をかける。

※ 1本針3本糸オーバーロック縫い(6.2%幅)の場合、右針は使用しません。

付属のドライバーで右針を外して下さい。



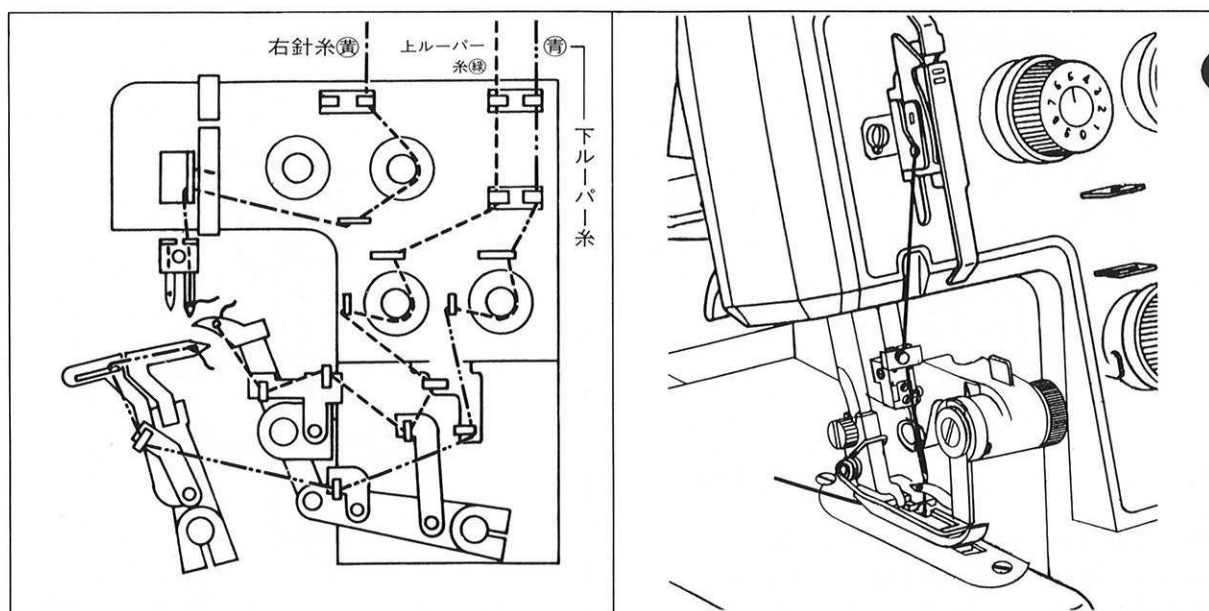
[c. 1本針3本糸オーバーロック縫い—4.0%幅、右針使用—の糸かけ]

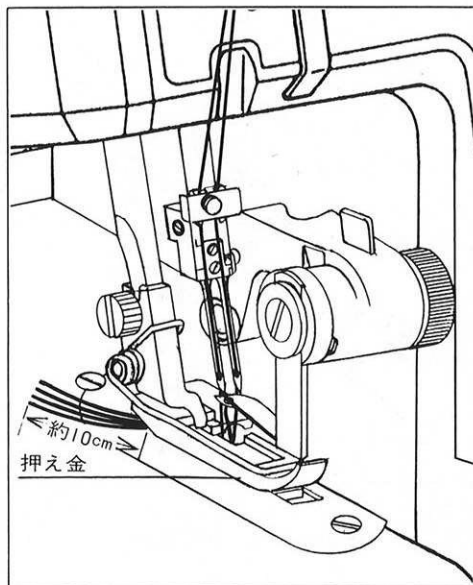
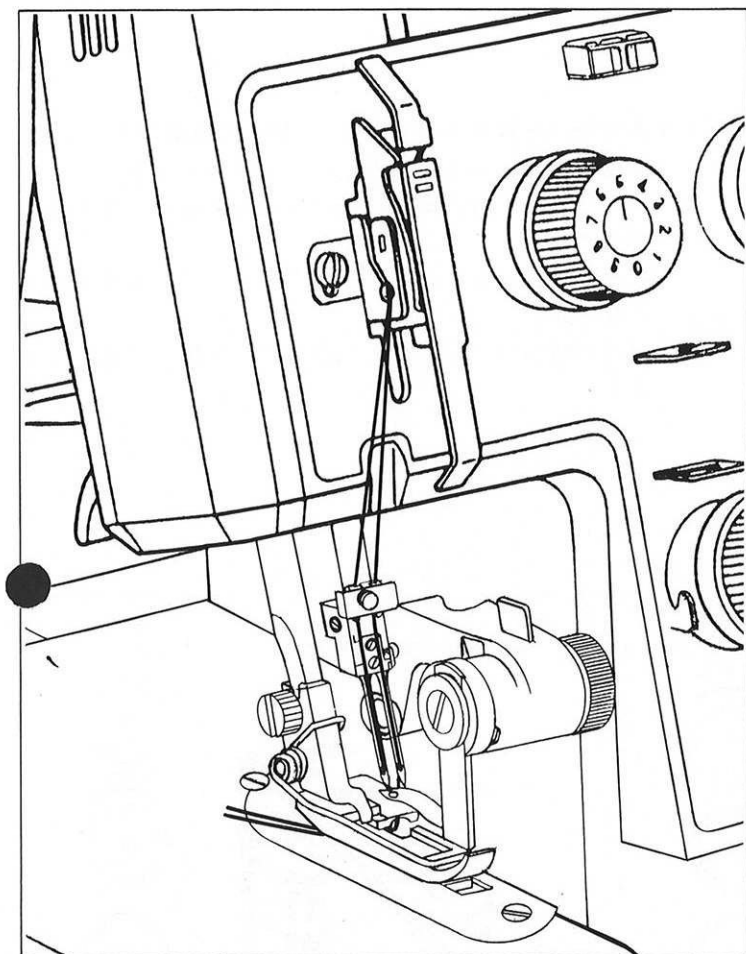
以下の順序で糸を正しくかける。

1. 緑のカラーコードに従って上ルーパー糸をかける。
2. 青のカラーコードに従って下ルーパー糸をかける。
3. 黄のカラーコードに従って右針糸をかける。

※ 1本針3本糸オーバーロック縫い(4.0%幅)の場合、左針は使用しません。

付属のドライバーで左針を外して下さい。

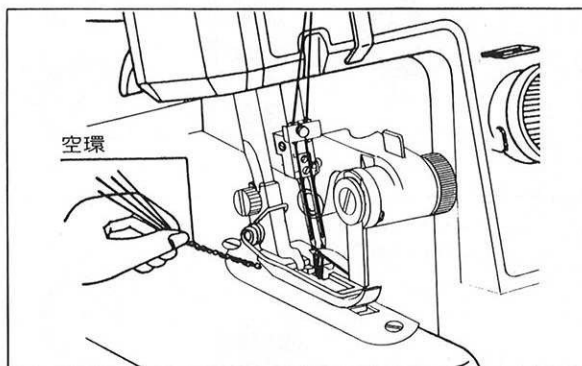




糸かけの終わった糸は、押え金の下を通して左方向に約10cm引き出しておく。押え金の下を通す時、いったん押え金を上げて行って下さい。

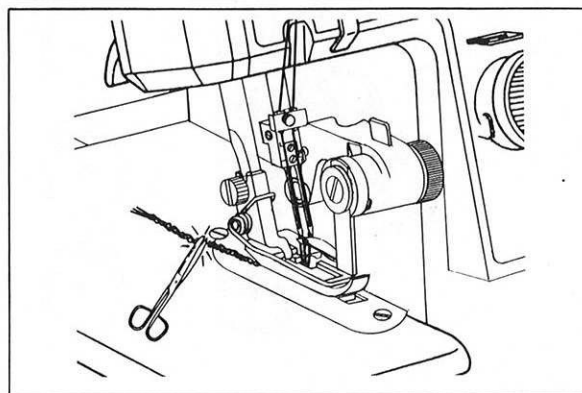
● 縫い始め

押え金の下から出ている糸を少し張り気味につまみ、右手ではずみ車を矢印方向(手前)に空環が出てくるまで数回廻す。空環が出てきたら布地をセットして縫い始める。

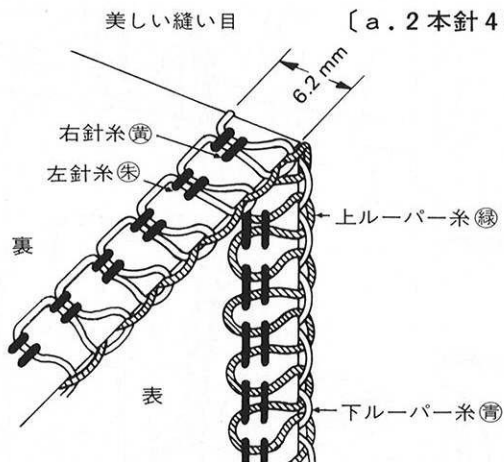


● 縫い終り

縫い終わりは布地の端から約5cm空縫いをして、糸を切る。



# 糸調子のとり方



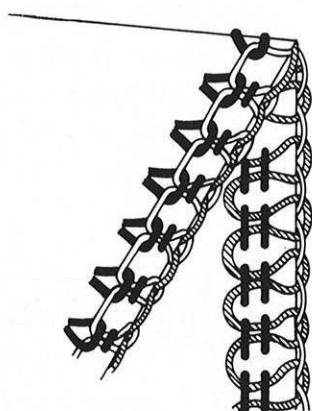
[ a. 2本針4本糸オーバーロック縫い—6.2%幅—の糸調子のとり方 ]

糸調子は布地や糸の種類によって異なります。バランスのとれた美しい縫い目になる様に、各糸調子器で調節して下さい。

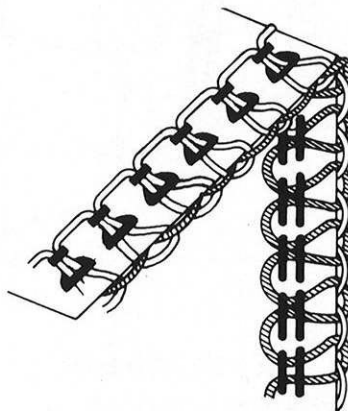
各糸調子器は数字が大きくなるに従って、糸調子が強くなります。

反対に数字が小さくなるに従って、糸調子が弱くなります。

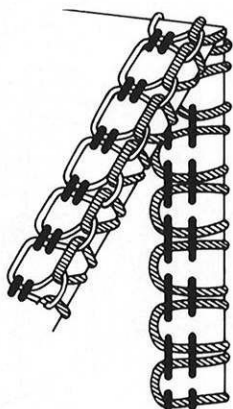
左針糸が弱すぎる場合



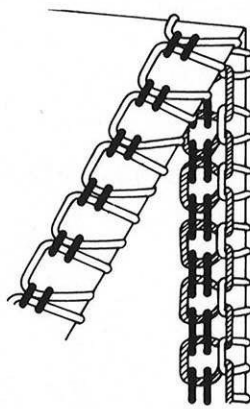
右針糸が弱すぎる場合



上ルーバー糸が裏側に巻き込む場合



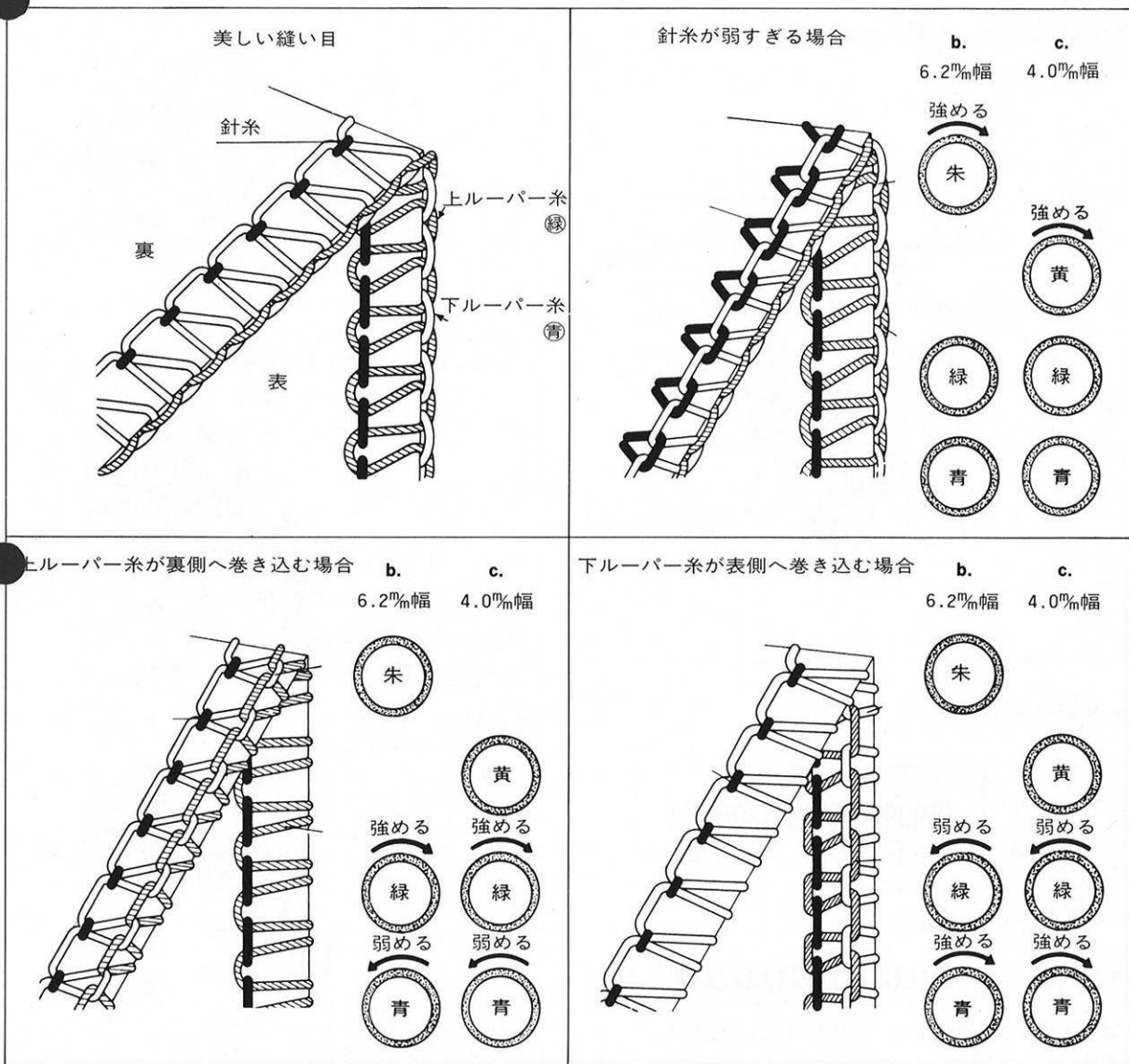
下ルーバー糸が表側に巻き込む場合





- [b. 1本針3本糸オーバーロック縫い—6.2%幅—の糸調子のとり方  
 c. 1本針3本糸オーバーロック縫い—4.0%幅—の糸調子のとり方]

1本針3本糸オーバーロック縫いの糸調子のとり方は、6.2%幅も4.0%幅も同様です。  
 但し、針糸調子器は6.2%幅の場合は左針糸調子器(朱色)を、又、4.0%幅の場合は右針糸調子器(黄色)で調節して下さい。

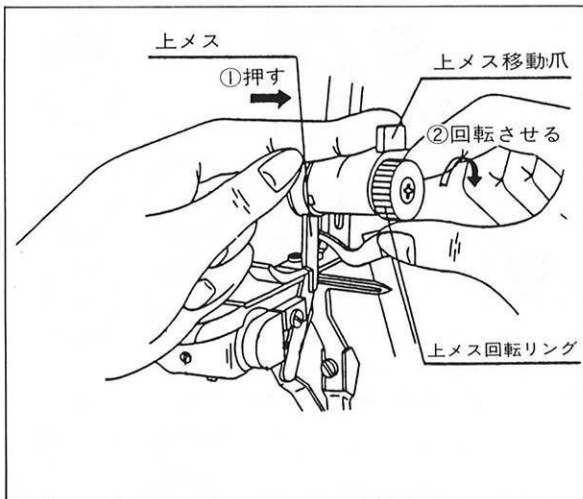


# 巻きロックとして使用する場合

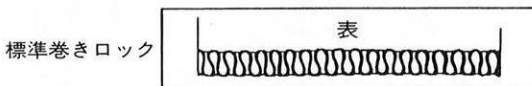
このミシンは右針を使用する1本針3本糸オーバーロック縫いで巻きロックが出来ます。

## ●針板の交換

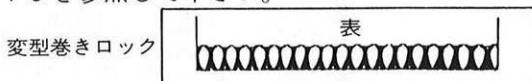
1. メスカバー、下側面カバーを開ける。
2. 針を上にあげ、押え金を取り外す。  
(P.8「押え金の取り外し」参照)
3. 上メスを上に回転させる。
4. 針板止ネジを外し、針板を付属の巻きロック用針板に交換し、ネジ止めする。
5. 押え金を取り付ける。  
(P.8「押え金の取り付け」参照)
6. 送り目ファインダーの指針を「M」にする。  
(P.8「送り目の調節」参照)
7. メスカバー、下側面カバーを閉じる。



## ●糸調子のとり方

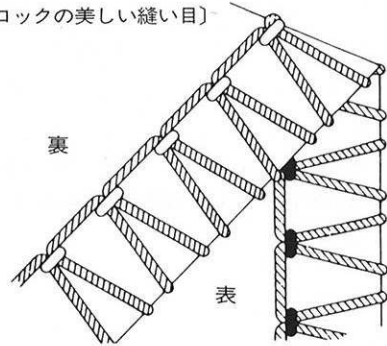


標準巻きロックの糸調子のとり方は1本針3本糸オーバーロック縫いの場合と同じです。P.6を参照して下さい。

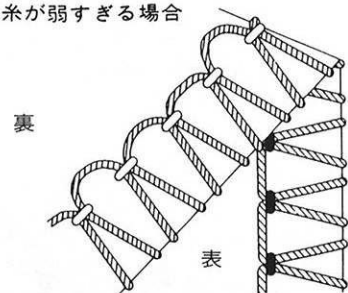


変型巻きロックの糸調子のとり方は右図を参照して下さい。

[変型巻きロックの美しい縫い目]

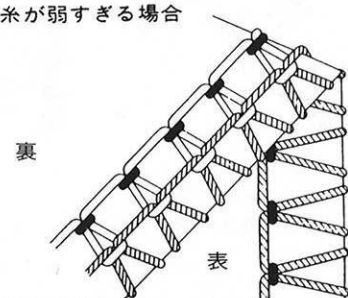


上ルーバー糸が弱すぎる場合



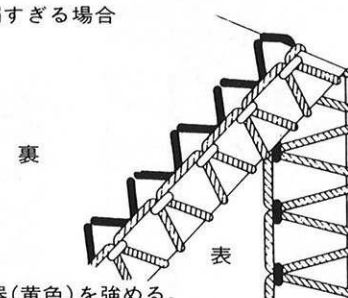
上ルーバー糸調子器(緑色)を強める。

下ルーバー糸が弱すぎる場合



下ルーバー糸調子器(青色)を強める。  
又は上ルーバー糸調子器(緑色)を弱める。

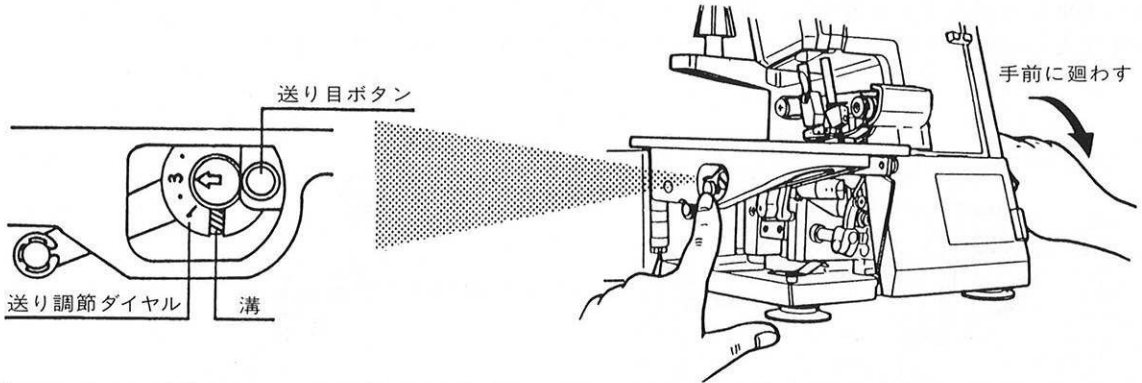
針糸が弱すぎる場合



右針糸調子器(黄色)を強める。  
又は、上ルーバー糸調子器(緑色)と  
下ルーバー糸調子器(青色)を弱める。

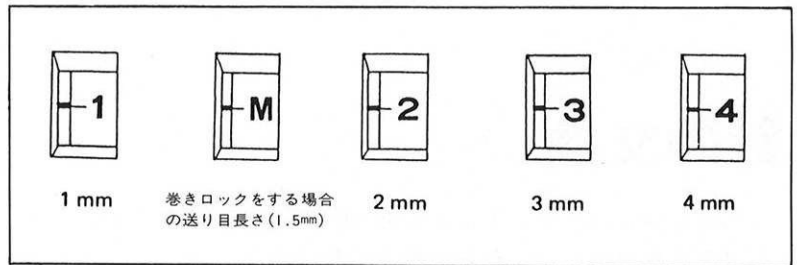
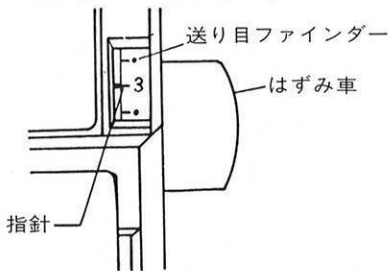
# 送り目の調節

1. 下側面カバーを開ける。
2. 左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、ボタンが送り調節ダイヤルの溝にパチンと入るまで、右手ではずみ車を廻らす。



送り目ボタンが溝に入ったまま(送り目ボタンを押し続けた状態で)、再びはずみ車を廻らし、ミシン正面右下の送り目ファインダーの指針に、希望の送り目を合わせる。

4. 下側面カバーを閉じる。



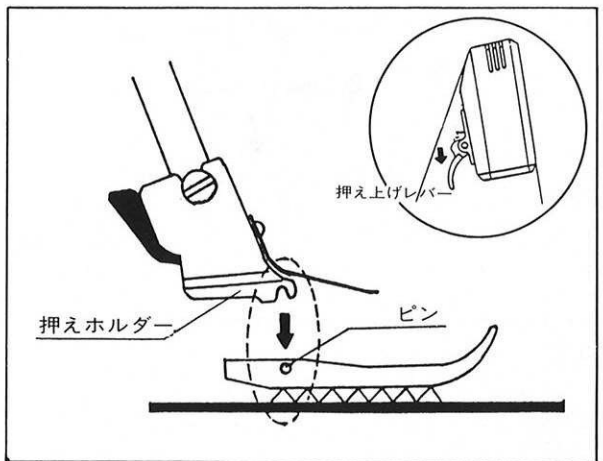
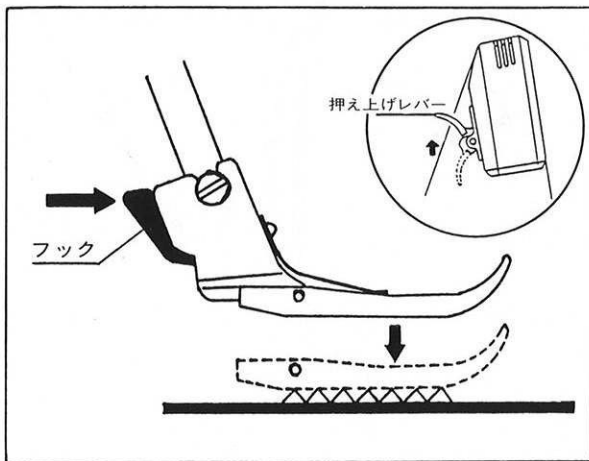
# 押え金の取り外し・取り付け

〔押え金の取り外し〕

- ① 押え上げレバーで押え金を上げる。
- ② フックを押し、押え金を外す。

〔押え金の取り付け〕

- ① 押え金のピンが、押えホルダーの下にくるように置く。
- ② 押え上げレバーを下げて、ホルダーと押え金を取り付ける。

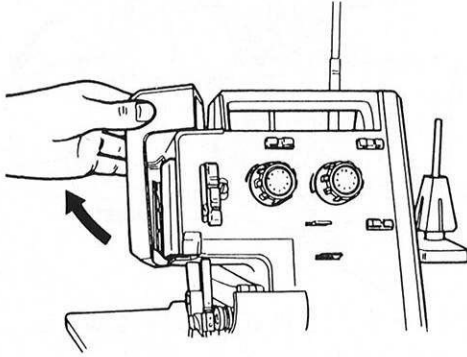


# 押え圧力の調節

このミシンはすでに押え圧力を標準(中厚物用)に調節してあります。極薄物、極厚物の場合にのみ調節してください。

薄い生地には押え圧力を弱くし、厚い生地には押え圧力を強くします。

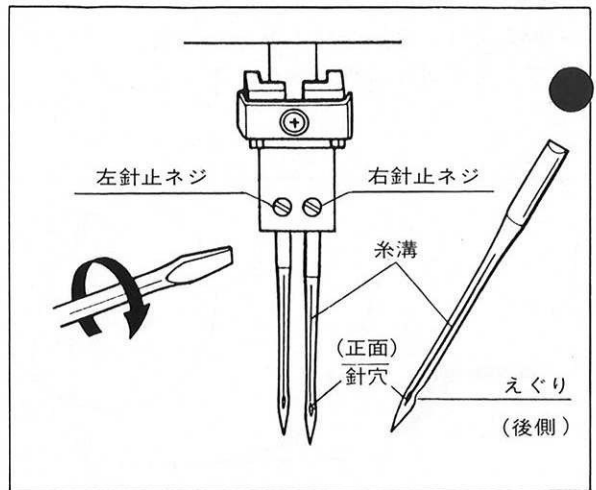
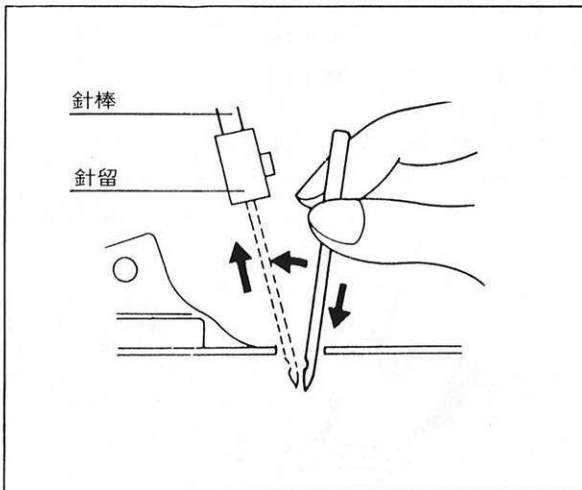
押え圧力の調節は照明ライトカバーを開け、押え圧力調節ネジで行ないます。



# 針の交換

このミシンには、必ずオルガン針のDC×1をご使用下さい。

- 1.はずみ車を廻らし、針を一番上にあげる。
- 2.針止ネジをゆるめて、針を取り外す。
- 3.新しい針のエグりを後側にして、針留の穴の一番奥まで差し込み、針止ネジを固く締めつける。



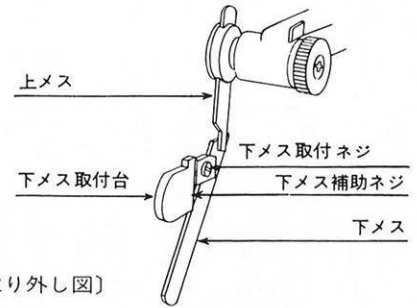
# メスの交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。

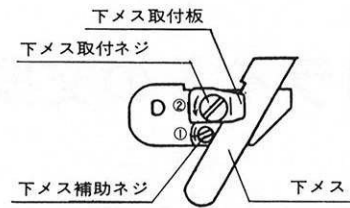
メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常下メスを交換して下さい。

## 1 下メスの交換

- (1)メスカバー、下側面カバーを開く。
- (2)上メスを上に回転させる。
- (3)下メス補助ネジを左に45度(1/8回転)廻わして、下メスの押し付けを解除する。
- (4)下メス取付ネジをゆるめて、下メスをはずす。
- (5)新しい下メスを下メス取付台のメス溝に合わせて差し込み、下メスの刃先が針板の上面と同じ高さになるようにして、下メス取付ネジを締めつける。
- (6)下メス補助ネジを右に45度(1/8回転)廻わして、下メスを押し付ける。
- (7)上メスを元の位置に戻す。
- (8)メスカバー、下側面カバーを閉じる。



〔下メス取り外し図〕

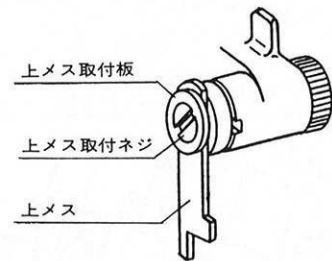


〔下メス取付図〕

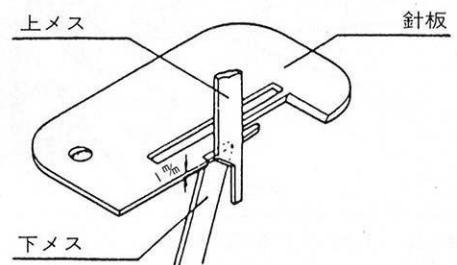
## 2 上メスの交換

上メスは長寿命の特殊な材質で出来ていますので、通常交換の必要はありません。

- (1)メスカバーを開く。
- (2)はずみ車を廻わし、上メスを最下点にする。
- (3)上メス取付ネジをゆるめて、上メスをはずす。
- (4)新しい上メスを上メス取付ネジで仮止めする。
- (5)上メスの手前刃先が、下メスの刃先に対して、1mm程度かみ合うように位置決めし、上メス取付ネジを締めつける。
- (6)メスカバーを閉じる。

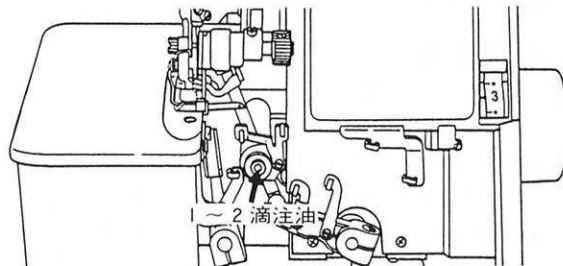


〔上メス取付図〕



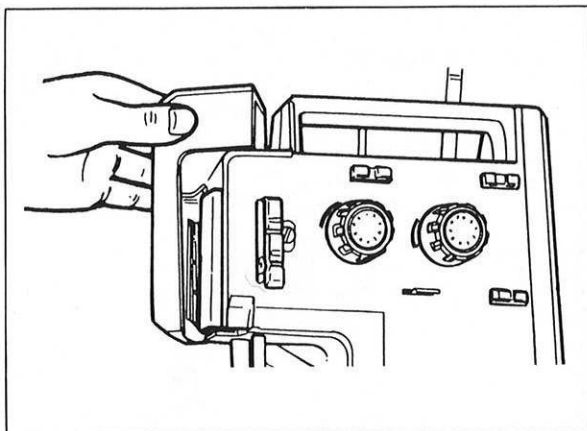
# 注 油

図に示した箇所に定期的に注油しますと、マシンがより長持ちします。

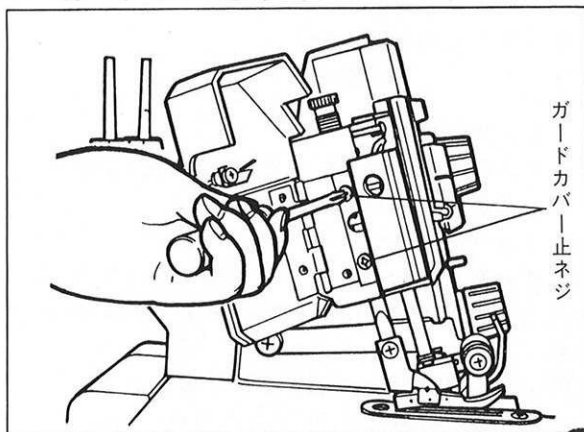


# 照明ライトの交換

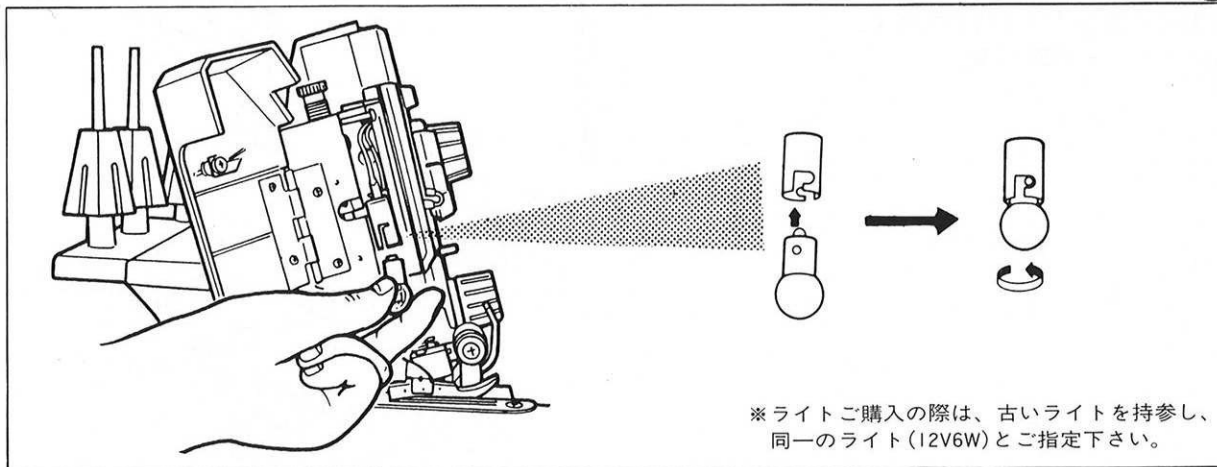
1. 照明ライトカバーを開く。



2. ガードカバー止ネジ(2本)をゆるめ、ガードカバーを外す。



3. 古いライトを取り外し、新しいライトを取付ける。



※ライトご購入の際は、古いライトを持参し、同一のライト(12V6W)をご指定下さい。

4. ガードカバーを取付ける。

5. 照明ライトカバーを閉じる。

# 伸縮縫いをする場合

BL4-543DF型は、あらゆる素材を美しく仕上げる「差動送り機構」を装備し、布地を伸ばしたり、縮めたりしながら縫う事ができます。

操作は本体右側面の「差動切換レバー」でおこないます。

- 伸びやすい布地の伸び止めをする場合 } →レバーの指針をNより上の □ マーク側にセットして縫う。
- 縮め縫いをする場合

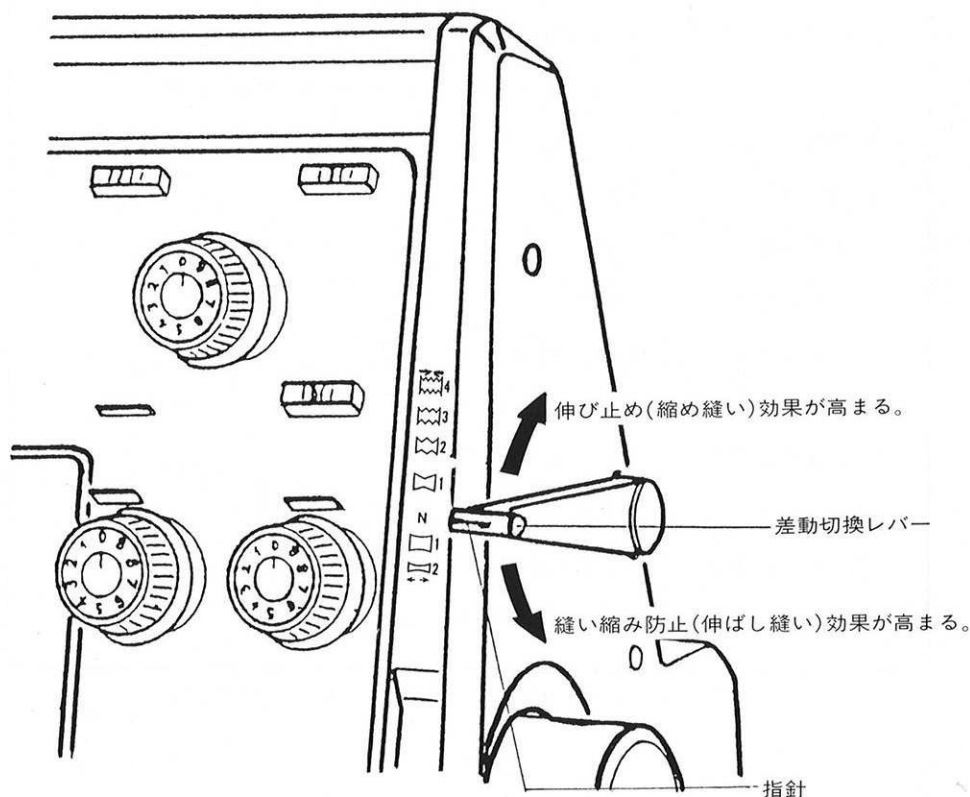
～マークが □ □ □ □ になるに従い、伸び止め(縮め縫い)効果が高まる。～

- 薄地等の縫い縮みを防止する場合 } →レバーの指針をNより下の □ マーク側にセットして縫う。
- 伸ばし縫いをする場合

～マークが □ □ になるに従って、縫い縮み防止(伸ばし縫い)効果が高まる。～

- レバーの指針が「N」にセットされている時は、普通の状態です。

※バルキーなニット地等を縫う場合、又はテープ入れをする場合は、付属の「バルキー押え金」をご使用下さい。



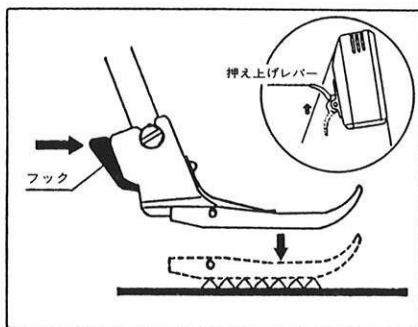
# バルキー押え金を使用する場合

バルキーニットの縫製やいせ込み量を多くしたい時、又、各種のテープを入れて縫う時は付属のバルキー押え金をご使用下さい。

## 押え金の交換

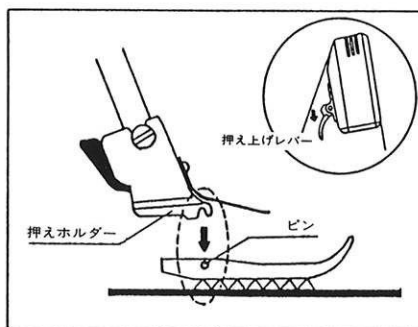
### 【押え金の取り外し】

- ①押え上げレバーで押え金を上げる。
- ②フックを押し、押え金を外す。

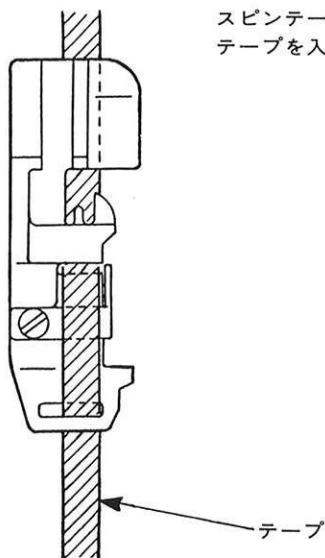


### 【押え金の取り付け】

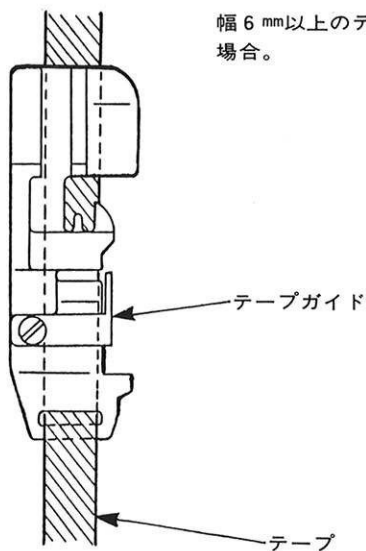
- ①押え金のピンが、押えホルダーの下にくるように置く。
- ②押え上げレバーを下げて、ホルダーと押え金を取り付ける。



## テープ縫いの方法



スピンテープ等、幅 6 mm 迄のテープを入れる場合。



幅 6 mm 以上のテープを入れる場合。

何れの場合も、針を一番上にして押えを上げ、テープを入れ、押えを下げて、空縫いしてから縫い始めます。

(肩線等には、別売のウーリースピンテープをお使い下さい。)



# 梱包明細

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. ミシン        | 6. アクセサリーケース  |
| 2. コントローラーセット | ●巻きロック用針板     |
| 3. 頭部ビニールカバー  | ●バルキー押え金      |
| 4. ご使用のてびき    | ●ドライバー(マイナス用) |
| 5. 保証書        | ●針DC×1        |
|               | ●下メス          |
|               | ●ピンセット        |
|               | ●掃除用ブラシ       |
|               | ●油差し          |
|               | ●本駒受け         |
|               | ●ベビーネット       |

# 仕様表

かがり巾	・2本針4本糸オーバーロック 6.2 <sup>mm</sup> ・巻きロック 1.5 <sup>mm</sup> ・1本針3本糸オーバーロック 6.2 <sup>mm</sup> 、4.0 <sup>mm</sup>
縫い目(送り目)	1 ~ 4 <sup>mm</sup>
差動比	0.7~2.0
メス上下量	6.5 <sup>mm</sup>
押え上り量	5 <sup>mm</sup>
送り歯高さ	0.7 <sup>mm</sup> (標準)
使用針	DC×1
使用糸本数	4本、3本
照明ライト	12V 6W
ミシンの大きさ	255 <sup>mm</sup> ×310 <sup>mm</sup> ×305 <sup>mm</sup>
ミシンの重さ	6.5kg(モーター付完成品)

※都合により使用書の内容を一部変更する場合があります。